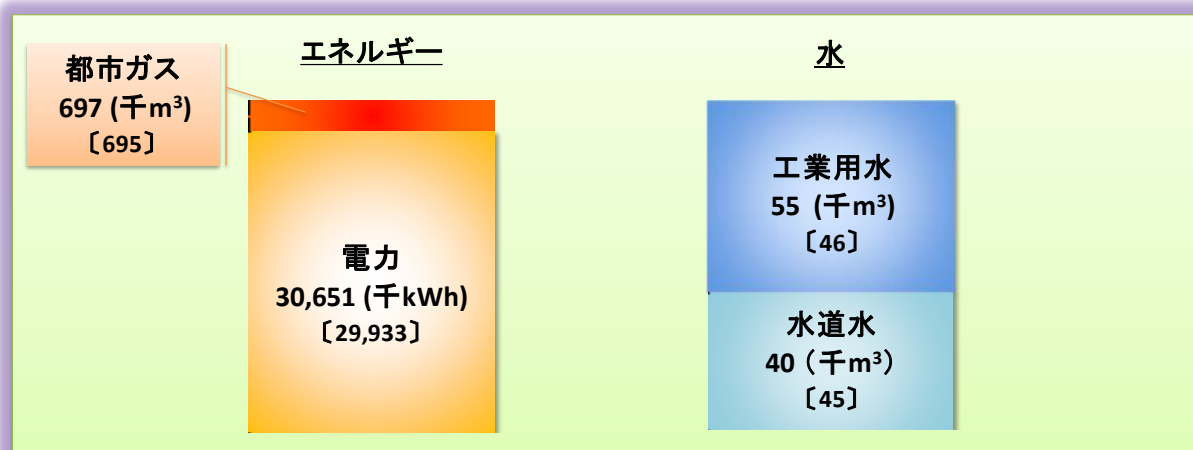


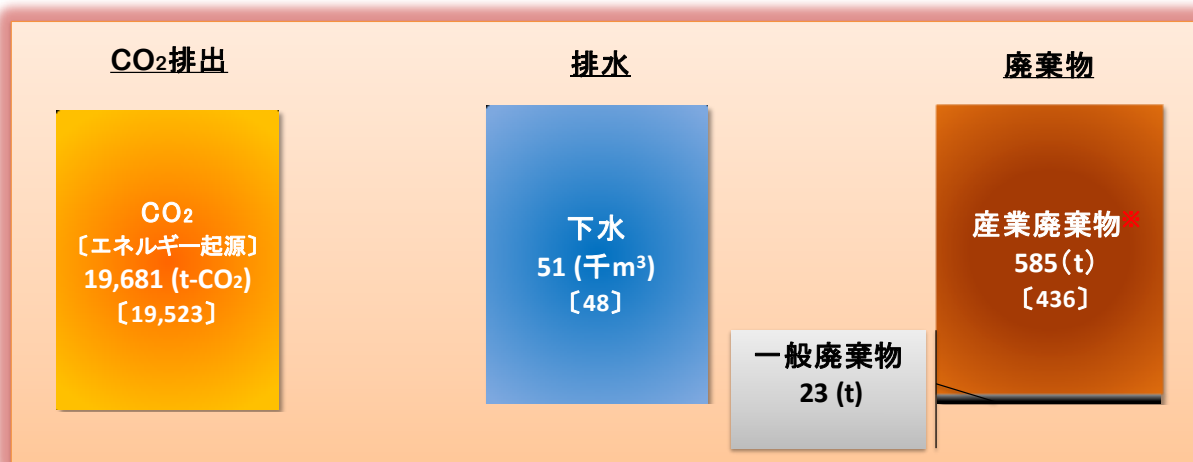
# 東京エレクトロン宮城（株）の環境パフォーマンス

東京エレクトロン宮城（株）の昨年度の環境負荷に関して、インプット（エネルギー・水）とアウトプット（CO<sub>2</sub>排出・排水・廃棄物）をご報告いたします。2014年度は他事業所との統合により、対前年度比約2%のエネルギー増加となりました。また、生産活動も年間を通して好調に推移したことで、廃棄物発生量は大きく増加しました。

今後も、工場で使われるエネルギーと資源について3R（Reduce・Reuse・Recycle）を進め、より環境負荷の少ない廃棄物処理方法へ変更するなど、効率的な運用による一層の省エネルギー化、環境負荷低減に努めてまいります。



## インプット



※ 産業廃棄物は、リサイクル率100%

〔 〕内は2013年度実績

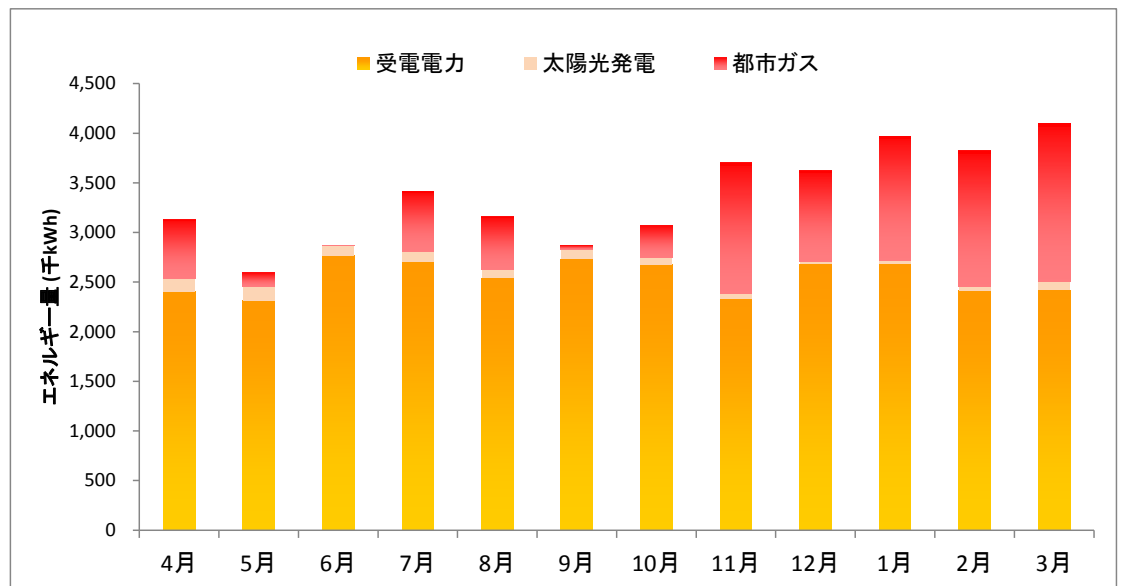


## eco エネルギーの使用

右の表は使用エネルギーの月別内訳を示しています。

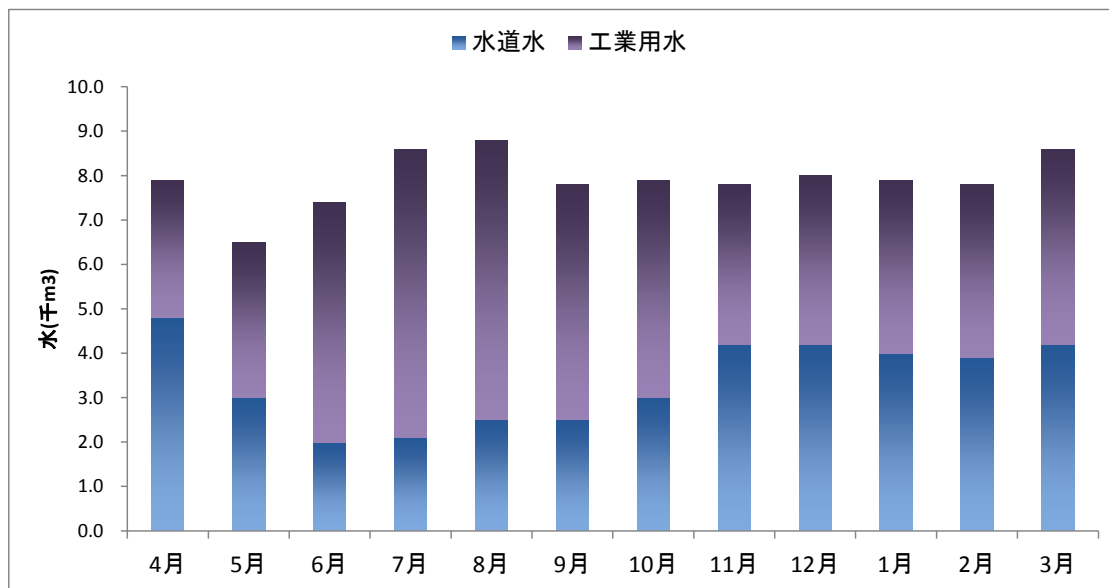
2014年度から、省エネ法に基づきピーク時の電力カットが求められるようになりました。当社でも2012年度からの継続施策として、夏季、冬季の日中はコージェネレーションシステムを稼働させて、一年を通じた受電電力の平準化を図っています。

2014年度の全体消費エネルギー量に対する受給割合は、太陽光発電2.4%、都市ガス21.6%、電力76.0%でした。



2014年度の全体消費エネルギー量に対する受給割合は、太陽光発電2.4%、都市ガス21.6%、電力76.0%でした。

## eco 水の使用



左の表は水使用量の月別内訳を示しています。

工業用水は、水道水に比べて環境負荷がおおよそ70%<sup>※1</sup>削減とされています。

2014年度は設備給水の見直しを行い、水質面で切り替えが可能な設備の給水を水道水から工業用水に変更しました。

その結果、水使用量は対前年度比5%増となった一方で、水道水の使用量を10%削減し、水使用中の工業用水比率を57%に向上させています。

※1 出典：CFPプログラム (<http://www.cfp-japan.jp/>) 算定基本データ集

東京エレクトロン宮城株式会社 総務部  
〒981-3629 宮城県 黒川郡 大和町 テクノヒルズ1番  
TEL : 022-346-3000 URL : <http://www.tel.co.jp/tml/>

発行：2015年7月